

令和3年度自己点検・自己評価

1. 大項目評価

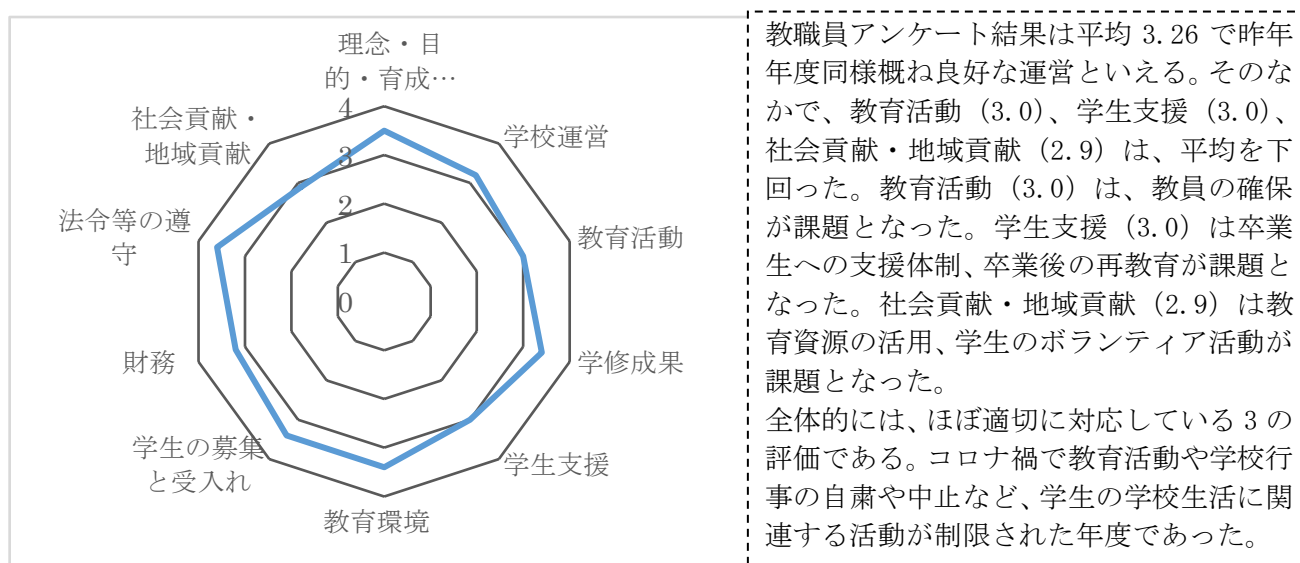
有効回答：22名 回答率86%

表1 評価基準 4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切

	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX	X
	理念・目的・人材像	学校運営	教育活動	学修成果	学生支援	教育環境	学生受入れ・募集	財務	法令等の遵守	社会・地域貢献
2021	3.5	3.2	3.4	3.0	3.1	3.4	3.3	3.3	3.6	2.8
2022	3.5	3.2	3.0	3.4	3.0	3.4	3.4	3.2	3.6	2.9

平均 3.26

図1 大項目レーダーチャート



評価基準

評語の意味	4 適切に対応している。新たな課題を発見しさらに向上させるための意欲がある。
	3 ほぼ適切に対応している。課題に対して改善への一層の取り組みが期待される。
	2 やや不適切である。対応が十分でなく課題の抽出と改善方策へ取り組む必要がある
	1 不適切である。全く対応しておらず学校の方針から見直す必要がある。

基準 I 理念・目的・育成人材像 平均 3.5

中項目	小項目	評価
1-1 理念・目標・育成人材像	1-1-1 理念・目的・育成人材像は、定められているか	3.8
	1-1-2 育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	3.4
	1-1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	3.3
	1-1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いている	3.4

<評価>

令和4年4月1日施行のカリキュラム改正に向けたカリキュラム編成作業を教員全体で取り組み、教育理念、育成人材像など見直すことができた。特に育成人材像は、卒業生の期待する卒業生像のアンケート調査の中で、卒業生、就職先施設側から多職種と協働する力、地域・家族の視点が十分でないとの結果であった。本校の設立趣旨や理念、地域ニーズを反映したカリキュラムを編成することにした。地域を見る、地域の人々の生活を知る科目は、臨地実習も含め1学年に設定している。前年度の課題であ

った SNS の活用は、学習支援システム（c ラーニング）を活用し情報交換ができています。
新カリキュラムの周知と新設した科目の評価を課題とする。

基準Ⅱ 学校運営 3.2

中項目	小項目	評価
2-2 運営方針	2-2-1 理念に沿った運営方針を定めているか	3.5
2-3 事業計画	2-3-1 理念等を達成するための事業計画を定めているか	3.3
2-4 運営組織	2-4-1 設置主体である医師会は組織運営を適切に行っている	3.4
	2-4-2 学校運営のための組織を整備しているか	3.2
2-5 人事・給与制度	2-5-1 人事・給与に関する制度を整備しているか	3.2
2-6 意思決定システム	2-6-1 意思決定システムを整備しているか	3.1
2-7 情報システム	2-7-1 情報システム化に取組み、業務の効率化を図っているか	2.9

<評価>

学校運営に関する組織、会議などは学則、規定に定めている。設置主体である医師会は、組織改編を行い、医師会のビジョンに向かって各部署が取り組んでいる。システムを活用できないことがある。学校が医師会の経営へ参画できる一つに減少しつつある受験生を増やすことができ、対策を講じるとする。

基準Ⅲ 教育活動 3.0

中項目	小項目	評価
3-8 目標設定	3-8-1 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針を定めているか	3.5
	3-8-2 修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	3.5
3-9 教育方法・評価等	3-9-1 修業年限に応じた教育到達レベルや学習時間の確保は明確にしているか	3.4
	3-9-2 教育課程について、外部の意見を反映しているか	3.2
	3-9-3 実践的な職業教育(実習)が体系的に位置づけられているか	3.6
	3-9-4 授業評価を実施しているか	3.3
3-10 成績評価・単位認定	3-10-1 成績評価・単位認定、進級、卒業判定の基準は明確になっているか	3.4
	3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	3.6
3-11 資格・免許の取得の指導体制	3-11-1 目標とする免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	3.5
	3-11-2 資格・免許取得に関する指導体制はあるか	3.6
3-12 教員・教員組織	3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか	3.1
	3-12-2 教員の資質向上への取組みを行っているか	3.1
	3-12-3 教員の組織体制を整備しているか	3.0

<評価>

教育活動 3-12 教員・教員組織において専任教員の資格を取得していない教員数について、沖縄県より指定規則違反と注意があった。専任教員養成講習会の県内開催がない、コロナ禍で県外派遣もできない状況である。令和4年度は県内で開催される専任教員養成講習会へ4人の教員の参加を申請している。

基準Ⅳ 学修成果 3.4

中項目	小項目	評価
4-13 就職率・進学率	4-13-1 就職率・進学率の向上が図られているか	3.5
4-14 免許の取得率	4-14-1 免許取得率の向上が図られているか	3.7
4-15 卒業生の社会的評価	4-15-1 卒業生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	2.9

<評価>

コロナ禍以前は臨地実習を通して卒業生の活躍や評価を把握していたが、臨地実習が中止、縮小になって以来、把握することが困難となっている。コロナ禍においても卒業生の社会的評価が把握できる方法については課題とする。

基準Ⅴ 学生支援 3.0

中項目	小項目	評価
5-16 就職等進路	5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制は整備されているか	3.2
5-17 中途退学への対応	5-17-1 退学率の低減が図られているか	3.2
5-18 学生相談	5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか	3.2
5-19 学生生活	5-19-1 学生に対する経済的支援体制は整備されているか	3.4
	5-19-2 学生の健康管理を行う体制を整備しているか	3.5
	5-19-3 学生の生活環境への支援は行われているか	3.2
	5-19-4 課外活動に対する支援体制を整備しているか	2.9
5-20 保護者との連携	5-20-1 保護者との連携体制を構築しているか	2.8
5-21 卒業生・社会人	5-21-1 卒業生への支援体制を整備しているか	2.6
	5-21-2 産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	2.6
	5-21-3 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	3.0

<評価>

卒業生の支援はWebによるホームカミング以外の支援策の企画はしていない。また、卒業後の再教育プログラムの開発など病学連携病院と連携できるようシステムづくりをしたが、実施できていないことから、課題とする。今年度退学者4名である。1名は一身上の都合を理由に、3名は進路変更である。進路変更した学生は1年間休学し、進路をみつけ、1名は復学したが休学中に進路決定した中での復学には無理があった。また、単位未履修による休学者も

課外活動としてボランティアサークルを結成したがコロナ禍でボランティア活動が制限されたり、自粛したりとメンバー募集や活動ができない状況であった。学生への経済的支援は、奨学金担当が国の支援策への募集があるたびに学生へ情報を発信している。該当する学生は申請し補助金、奨学金制度を活用している。

基準Ⅵ 教育環境 3.4

中項目	小項目	評価
6-22 施設・設備等	6-22-1 施設・設備・教育用具は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3.4
6-23 学外実習	6-23-1 臨地実習体制を整備しているか	3.4
6-24 防災・安全管理	6-24-1 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	3.2
	6-24-2 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	3.4

<評価>

防災・防犯に関する規程を修正した。学内において不審者の侵入、盗難が発生したため、防災・防犯に関する規程に不審者・盗難の対策を追記した。また、防災時の自衛防災・防犯隊の役割一覧を規程に挿入した。災害時に必要なヘルメットの整備が課題である。

基準Ⅶ 学生の募集と受入れ 3.4

中項目	小項目	評価
7-25 学生募集活動は適正に行われているか	7-25-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいる	3.3
	7-25-2 学生募集活動は適切に行われているか	3.3
7-26 入学選考	7-26-1 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	3.4
	7-26-2 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	3.8
7-27 学納金	7-27-1 経費内容に対応し、学納金を算定しているか	3.2
	7-27-2 入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱を行っているか	3.6

<評価>

学生募集のための高等学校訪問ができていない。また募集活動は業社のガイダンスの参加、ホームページと従来と変わらない。オープンスクールもウェブで行い、本校を希望する高校生、社会人対象に新しい広報活動が必要とされ課題とする。

基準Ⅷ 財務 3.2

中項目	小項目	評価
8-28 財務基盤	8-28-1 学校及び医師会運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	3.0
	8-28-2 学校及び医師会運営に係る主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	3.1
8-29 予算・収支計画・監査	8-29-1 教育目標との整合性を図り、予算・収支計画は有効かつ妥当なものになっているか	3.1
	8-29-2 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	3.3
8-30 監査	8-30-1 財務について会計監査が適正に行われているか	3.3
8-31 財務情報の公開	8-31-1 財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか	3.2

<評価>

令和3年度の財務状況は、新型コロナウイルス感染症の PCR 検査の受注により収益増の報告があったが、一時的な収益増であることから、中長期的な財務基盤となる医師会本来の機能を活性化させる方向にある。それに伴い、経営コンサルタントの導入で経営戦略の方向性などが検討され、また将来を見据え人材育成にも着手している。学校は母体である医師会からの補助金により財務の安定が図られているが、経営への参画を意識できるよう、予算及び予算執行を教職員に周知する。

基準Ⅸ 法令等の遵守 3.6

中項目	小項目	評価
9-32 関係法令、設置基準等の遵守	9-32-1 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営がされているか	3.6
9-33 個人情報保護	9-33-1 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	3.7
9-34 学校評価	9-34-1 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	3.5
	9-34-2 自己評価結果を公表しているか	3.6
	9-34-3 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	3.5
	9-34-4 学校関係者評価結果を公表しているか	3.5
9-35 教育情報の公開	9-35-1 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	3.6

<評価>

学則変更手続きの際、入学生数が学生定員 80 名を超えていたこと、専任教員の資格のない教員数に対して指定規則違反と注意を受けた。学則どおり定員 80 名を守ること、専任教員講習会への参加させること等を行い指摘事項について遵守するとした。

基準Ⅹ 社会貢献・地域貢献 2.9

中項目	小項目	評価
10-36 社会貢献・地域貢献	10-36-1 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	2.9
10-37 ボランティア活動	10-37-1 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	2.9

<評価>

地域活動、学生のボランティア活動は、感染状況と沖縄県感染対処方針に基づいて学校方針を示していく。